

近隣施設のご紹介



七里の渡し跡 江戸時代「東海道五十三次」の桑名宿は、江戸から数えて42番目の宿場として旅籠屋が100件を越し、宮宿に次いで多く、往来する米や木材を扱う商人や旅人が絶えず通行し活気あふれていました。宮宿(熱田)から桑名宿の通行は唯一、海路七里(現在28km)と定められ、七里の渡し場となりました。「伊勢国一の鳥居」が建つこの位置に渡船の発着場あり、伊勢国の東入口でした。この鳥居は式年遷宮ごとに伊勢神宮宇治橋の鳥居を移して建て替えられています。【手前の通路は旧東海道】



六華苑(庭園(国の名勝)から望む六華苑) 二代目諸戸清六の邸宅として大正2年に完成。本苑は、鹿鳴館の設計で有名なイギリス人建築家ジョサイア・コンドル設計の洋館・和館(重要文化財)や蔵、「池泉回遊式」の日本庭園で構成されています。庭園は一部を除き平成13年に国の名勝に指定されています。【別途入園料有】 お問い合わせ先…TEL:0594-24-4466



諸戸氏庭園(菖蒲池(国の名勝)と推敲邸(県指定文化財)) 江戸時代の豪商山田彦左衛門の隠居所として整備され、明治時代に初代諸戸清六が買い取り、新たに増築し現在に至っています。菖蒲池、御殿と池庭は国の名勝、庭園内には重要文化財が数多く立ち並んでいます。【別途入園料有・開園期間は限定】 お問い合わせ先…TEL:0594-25-1004



交通のご案内

お車利用の場合

- 東名阪自動車道 桑名ICから国道1号線経由10分 / 無料駐車場有り(14台)

公共交通機関利用の場合

- JR東海関西本線・近鉄名古屋線 桑名駅から
徒歩約25分・またはK-バス「六華苑」下車すぐ

施設情報のご案内

開園時間	3月1日~6月30日 9:00~17:00	9月1日~11月30日 9:00~17:00
	7月1日~8月31日 9:00~18:00	12月1日~2月末日 9:00~16:30
休園日・休館日	毎月第2月曜日(休日の場合は直後の平日)、12月31日、1月1日	
入園料	無料	駐車場 無料 14台 ※なるべく公共交通機関をご利用ください。
開園年月日	平成27年11月3日	住所 桑名市住吉町~太一丸地区(六華苑南側)

お問い合わせ先

木曾三川公園管理センター

〒503-0625 岐阜県海津市海津町油島255-3

TEL.0584-54-5531 FAX.0584-54-5533

<http://kisosansenkoen.jp/>

桑名七里の渡し公園

(住吉地区)

国営木曾三川公園
KISO SANSEN National Government Park



桑名七里の渡し公園 (住吉地区)

木曾三川を軸とした交流と繁栄の歴史
～川やまちと一体となった歴史公園～

この地域は木曾三川を軸に人や物の交流が生まれ、文化を育み、地域の繁栄につながった歴史の拠点です。一帯は東海道の要衝「七里の渡し」をはじめ、町の象徴であった桑名城跡や旧東海道の街並みなど歴史的なエリアとなっています。

桑名七里の渡し公園は歴史文化をテーマとしています。9.6haと広大な敷地を有し伊勢大橋～七里の渡しまで3つのエリアで楽しめます。現在開園しているのは中央の住吉地区です。

国の名勝や重要文化財が集中しているところは全国的にも珍しく六華苑や諸戸氏庭園をつないだ場所に、桑名市の要望を受けて公園整備をしております。歴史文化観光都市として、桑名市の更なる発展のため、皆様の公園のご利用を心よりお待ちしております。

周辺史跡 マップ



①七里の渡し跡 ②桑名城跡(九華公園)



③諸戸氏庭園 ④六華苑 ⑤住吉神社



歴史散歩で文化を味わう桑名



1 景石は日本庭園でよく使用されている揖斐石と呼ばれるチャート石(揖斐川町で産出)

2 芝生広場周辺に園路を配置して回遊性を確保

4 六華苑・諸戸氏庭園で植えられている樹種

3 せせらぎ、景石の配置による日本庭園風の景観

5 湧水口には六華苑にかつて存在した円形花壇のデザイン

6 諸戸水道の共用栓をデザインモチーフとした湧水口

7 諸戸氏庭園と調和を図るレンガ塀や門柱

各施設のご案内

- トイレ
- 多目的トイレ
- スロープ
- 駐車場
- 公園エリア
- バリアフリー動線

日本庭園の見方・歩き方の一例を紹介します
日本庭園を鑑賞するときには、①全体のバランス②水③樹木④石の4つに注目します。全体のバランスは、山・溪流・池の調和を見ます。本公園は一部開園なので未完成ですが、左右対称ではない造りが日本庭園の美意識です。水の流れは、山の水源から海に注ぐまでがうまく表現されているか、溪流の瀬や淵での流れの変化も大切な要素です。樹木は種類・植え方などで当時(江戸～明治)の流行がわかります。石は、大きさ・形・色のほか、置き方にどんな工夫をしているか、風景の調和具合を見ます。